
神になった元落ちこぼれ

トリィケンスケ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神になった元落ちこぼれ

【Nコード】

N9739X

【作者名】

トリイケンスケ

【あらすじ】

彼は死んだ。

しかし彼は生き返った、神として。

なぜ自分に封印があるのか。

なぜ自分なのか。

本当に自分は自分なのだろうか。

いや人間誰でも自分が自分だと言い切れる奴はいない。

彼が自分の真実を知る物語。

第一話 死から始まる物語（前書き）

どうもトリイです。

第一話 死から始まる物語

「……………???」 (主人公) 視点……………」

ドシュ――

「あ……………あ……………あ……………」

なんだよ、これ。

俺は、刺されたのか、槍で。

何なんだよ、これは卒業試験じゃないのかよ、何で刺されてんだよ。

「……………」
くくく」

何だよお前、絶対F級じゃないだろ。

何なんだよ、お前は。

「私は、ゴットヘル・アーマー。貴様らで言うところの、S級だな」

「くそ・・・・・・・・リミネェ・・・・・・・・逃げろお」

くそ、妹だけでも、逃がさないと。

「あ……兄上……。あ、足が」

な!?! 足が動かないだと!?!?

クソせめて妹だけは……………

「オイ・・クソ鎧・・・妹には・・・!!、ゴホッ!!
ゲボッ!!」

くそ、血を吐きすぎた、もう意識が……くそが。

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
かかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかか
かかあはははははははははははははははははははははは
ははははははははははははははははははははははははははは

クソ、逃げろよ……リミネ。

「自分が死に掛けているのに、他人の心配か。くくくくくくくくくくくく。面白い、だが！！そうはいかん、お前ら二人はここで死ぬ運命なのだ」

ファースト・トリガー
【第一条件…劣等感
リガー
件を開放します】
———認められました、第一条

セカンド・トリガー
【第二条件…一定以上の敵との遭遇
セカンド・トリガー
れました、第二条件を開放します】
———認めら

サード・トリガー
【第三条件…人間性
トリガー
条件を開放します】
———認められました、第三

クワトロ・トリガー
【第四条件…死を受け入れる
クワトロ・トリガー
れました、第四条件を開放します】
———認めら

ラスト・トリガー
【最終決定条件…生きることを望む】

【生きることを望みますか？】

【YES】・【NO】

それはもちろん。

【YES】だ。

ラスト・トリガー
【最終条件…生きることを望む————認められまし
ラスト・トリガー
た、最終条件開放します】

【全ての条件を開放しました、契約を発動し、封印を解除します】

【契約発動…最高神との契り・超絶神の力・精霊帝の使役、を発動
します】

【封印解除…筋力をDから測定不能へ。体力をD+から測定不能へ。

頑丈をDーから測定不能へ。魔力をCーから測定不能へ。俊敏をCから測定不能へ。器用をE＋から測定不能へ。知力をD＋から測定不能へ。精神をDから測定不能へ。神力を‘なし’から測定不能へ】

【能力開放…神力具現化・魔力干涉・闘気強化・全属性無効化・無拍子・超高速思考・超多思考分裂・無詠唱・精霊帝の支配者・全能力上昇】

【称号…最強の神・超絶神・原始の神】

【職業…超絶神】

【特殊能力…絶対創造】

【それでは、生き返ります】

「ガガガガガガガガガガガガガガガガガガガガガガガ
ぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎぎ
ああああああああああああああああああああああああ
あああああつああああガアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
」

次回

彼はいったい誰なのか。

そして彼も知らない真実が動き出す。

乞うご期待。

第一話 死から始まる物語（後書き）

他にも書いてますのでそちらもどうぞ。

第二話 開放された、超絶神。(前書き)

のどが痛いです。

第二話 開放された、超絶神。

――――？？？
(主人公) 視点――――

体をグシヤグシヤにされたかのような激痛に絶叫した俺だったが、途中からまったく痛くなくなっていった。

痛みが消えたわけじゃない、ただ、先ほどのように叫んだり考えることができなくなるほど痛く感じるができない。

まるで、痛覚がなくなったかのように。

そして痛みは引いていく。

「っ！！！！！！！！！」

その一瞬後に俺は力が溢れている事に気が付いた。

全てが俺の中にあるような全能感。

辺りを埋め尽くす魔力。

世界を遅く感じる程の知覚。

感じたことのない絶対的な力。

そして思い出した、あのメッセージに。

確かにあの声は言っていた、【封印】と、そして【契約】と。

なぜ？俺に封印などがある？

なぜ？俺が契約などしている？

俺はそんなの知らない。

誰がやった？

いや俺が覚えていないだけか？

だったら。

――俺は俺なのか？

俺は俺でなく違う誰かだっていうのか？

じゃあ、“レインセント”家でも弱かったのは、

“落ちこぼれ”だったのは、

俺が違う誰かだったから？

いやそんなはずがない。

何度も掛けた『検査魔法』で、何度も何度も血のつながった親子だ

と言う結果がでている。

じゃあなんで？

俺は誰だ、

誰なんだ、

誰でも良い教えてくれ、

俺は誰で、

何なんだ。

何処に行けばいいのか。

家には帰れない、俺は死んだことになってる。

無駄な混乱は避けなければならない。

父上や母上、妹には悪いが。

俺はイナクナル。

デモドコヘイク。

ドコヘイケバイイ。

ダレカタスケテクレ。

「き、貴様人間か!？」

ウルサイナ、ザコモンスターノクセニ。

モウイイヤ、ドウニデモナレ。

[illegible]

「何だこれ」

俺が目を開けると、大規模なクレーターの中に溜まった血の湖に俺の顔が移った。

「あああああああ」

俺は気を失った。

———
やっと一緒にいられる。

その声を聞きながら。

次回

神になった主人公の力とは？

ヒロイン登場！？

乞うご期待。

第二話 開放された、超絶神。(後書き)

どうも風邪を引いたようです。

トリイです。

感想待ってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9739x/>

神になった元落ちこぼれ

2011年11月11日06時31分発行